

専門基礎分野（人体の構造と機能）

授業科目	解剖生理学 I		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	1学期	
講師名	院外担当領域医師		
科目目標	人体の構造や機能を細胞レベルで学び、その成長段階と人体の生命維持機能および生殖機能を理解する		
	授業内容	備考	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 構造と機能からみた人体 <ol style="list-style-type: none"> 1) 構造からみた人体 2) 機能からみた人体 2. 人体の素材としての細胞・組織 <ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞の構造 2) 分化した細胞がつくる組織 3. 血液の成分と機能 <ol style="list-style-type: none"> 1) 血液の働き 2) 止血機能 3) 血液型 4. 外部環境からの防御機構 <ol style="list-style-type: none"> 1) 非特異的防御機構 2) 特異的防御機構 3) 体温とその調節 5. 生殖・発生と老化のしくみ <ol style="list-style-type: none"> 1) 男性生殖器 2) 女性生殖器 3) 受精と胎児の発生 4) 成長と老化 6. 人間の死 <ol style="list-style-type: none"> 1) 死の三徴候 2) 死亡判定 3) 脳死 	<p><関連科目> 生化学 疾病治療論 医療概論</p> <p>・解剖模型、モデル等を活用し、イメージ化を図る</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	講師資料 解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院 からだの地図帳：講談社 病理学：医学書院		

授業科目	解剖生理学Ⅱ			
教育方法	講義	単位・時間数	1単位	30時間
開講学期	1年次 1学期			
講師名	院内担当看護師・院外担当領域医師			
科目目標	人体の循環器系、泌尿器系、血液の構造や機能を系統的に学ぶ			
	授業内容			備考
	<p>1. 循環器系（血液の循環とその調節）</p> <p>1) 心臓の構造</p> <p>2) 心臓の機能（心筋、刺激伝導系、拍出機能）</p> <p>3) 血管の構造（動脈系と静脈系、肺循環と体循環）</p> <p>4) 血液の循環とその調節（冠循環、脳循環、脈拍、血圧）</p> <p>5) 胎児の血液循環</p> <p>6) リンパ管の構造と機能</p> <p>2. 体液とホメオスタシス</p> <p>1) 内部環境とホメオスタシス</p> <p>2) 体液</p> <p>3. 泌尿器系</p> <p>1) 尿の生成</p> <p>（1）腎臓の構造</p> <p>（2）尿生成のメカニズム（濾過、再吸収と分泌）</p> <p>（3）腎臓から分泌される生理活性物質</p> <p>2) 尿の貯蔵と排尿</p> <p>（1）排尿路の構造（尿管、膀胱、尿道）</p> <p>（2）尿の貯蔵と排尿</p> <p>3) 細胞外液の調節</p>			<p>臨床看護総論</p> <p>< 関連科目 ></p> <p>生化学</p> <p>疾病治療論</p>
評価の方法	筆記試験およびレポート等			
テキスト	<p>講師資料</p> <p>解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院</p> <p>からだの地図帳：講談社</p>			

授業科目	解剖生理学IV		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
講師名	院内担当看護師・院内外担当領域医師・非常勤講師		
科目目標	人体の消化器系、骨筋系、感覚器系の構造や機能を系統的に学ぶ		
	授業内容	備考	
	<p>1. 消化器系の構造と機能</p> <p>1) 消化器系の構造と運動</p> <p>2) 嚥下</p> <p>(1) 咽頭の構造と機能</p> <p>(2) 食道の構造と機能</p> <p>3) 消化と吸収</p> <p>(1) 腹部消化管の構造と機能</p> <p>(2) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能</p> <p>(3) 腹膜と腸間膜</p> <p>2. 骨・筋肉系の構造と機能</p> <p>1) 骨の構造と機能</p> <p>2) 関節の構造と機能</p> <p>3) 骨格筋の構造と機能</p> <p>4) 姿勢(体位と構え)</p> <p>3. 感覚器系の構造と機能</p> <p>1) 耳の構造と聴覚・平衡覚</p> <p>2) 鼻の構造と嗅覚</p> <p>3) 眼の構造と視覚、色覚</p> <p>4) 歯・口腔の構造と味覚(う歯、歯周病含む)</p> <p>5) 皮膚の構造と体性感覚</p>	<p><関連科目></p> <p>生化学</p> <p>疾病治療論</p> <p>・内臓感覚も含む</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	<p>解剖生理学：医学書院、解剖生理学ワークブック：医学書院</p> <p>成人看護学：医学書院 「耳鼻咽喉」「眼」「歯・口腔」「皮膚」</p> <p>からだの地図帳：講談社</p>		

授業科目	生化学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 1学期		
講師名	非常勤講師		
科目目標	1. 化学の基礎的知識を身につける 2. 人体の構成部分である化学物質の組成、その分布および代謝について学び、生命現象を化学的側面から理解するために必要な知識を身に付ける		
	授業内容	備考	
	1. 生化学を学ぶための基礎知識 1) 生体をつくる元素 2) 浸透圧 3) 酸と塩基 2. 生体を構成する物質 1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) 核酸 5) 水と無機質 3. 生体内の物質代謝 1) 代謝のあらまし 2) 酵素 3) ビタミンと補酵素 4) 糖質代謝 5) 脂質代謝 6) タンパク質代謝 7) 核酸代謝 4. 遺伝情報	< 関連科目 > 解剖生理学 栄養学 薬理学	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	生化学：医学書院 まるわかり！基礎化学：南山堂		

専門基礎分野（疾病の成り立ちと回復の促進）

授業科目	栄養学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
講師名	非常勤講師・院内担当領域栄養士・看護師		
科目目標	1. 人間の健康にとっての栄養の意義を理解し、健康的な食生活を送るために必要な栄養に関する基礎的知識を学ぶ 2. 病気の治療としての食事療法の意義、各種治療食の基本を理解する		
	授業内容	備考	
	1. 健康と栄養 1) 栄養とは 2) 健康における栄養の意義 2. 食物と栄養 1) 栄養素と栄養価 2) 各種栄養素の栄養学的意義 3) 日本人の食事摂取基準 4) エネルギー出納とその測定法 3. 健康的な食生活 1) 健康と食生活 2) 健康的な食生活の献立作成 4. 食事療法 1) 食事療法の意義 5. 疾患別治療食 1) 消化器疾患の治療食 2) 循環器疾患の治療食 3) 腎疾患の治療食 4) 栄養代謝障害（糖尿病・痛風・脂質異常症）の治療食 5) 貧血の治療食 6) 手術前後の食事 6. 経管栄養法 7. NSTチームと活動	<関連科目> 基礎看護学 生化学	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	臨床栄養学:メディカ出版 糖尿病食事療法のための食品交換表:日本糖尿病学会 臨床看護総論:医学書院		

授業科目	微生物学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 1学期		
講師名	非常勤講師		
科目目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解すると共に、感染症や伝染病の要因として重要な病原微生物の特徴を理解し、その予防と対処について基礎的知識を身につける		
	授業内容		備考
	1. 微生物学の基礎的知識 1) 微生物の種類 2) 感染のしくみと人体の感染防御機構 2. 微生物の構造と主な性質 1) 細菌の構造と主な性質 2) 真菌の構造と主な性質 3) 原虫の構造と主な性質 4) ウイルスの構造と主な性質 3. 主な病原微生物 1) 病原細菌と細菌感染症 2) 病原真菌と真菌感染症 3) 病原原虫と原虫感染症 4) 主なウイルスとウイルス感染症		<関連科目> 基礎看護学 生化学 薬理学
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	微生物学:医学書院		

授業科目	臨床検査		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 2学期		
講師名	院内講師（臨床検査科）		
科目目標	病気の診断・治療法の方針の選択や、病状や予後の判断の資料となる臨床検査の基礎知識を身につける		
	授業内容	備考	
	1. 臨床検査の基本 1) チーム医療における検査技師の役割 2. 一般検査 1) 尿検査 2) 糞便検査 3) 髄液検査 4) 関節液・体腔液・消化液の検査 3. 血液検査 1) 末梢血液検査・末梢血液像 2) 血液凝固・止血検査 3) 骨髄検査 4. 臨床化学検査 1) 糖尿病関連検査 2) 高脂血症関連検査 3) 肝機能検査 4) 膵機能検査 5) 腎機能検査 6) 電解質検査 7) 尿酸検査 8) ビタミンの検査 5. 免疫血清検査、輸血検査 1) 免疫血清検査 2) 炎症・感染症関連の検査 3) 自己免疫関連の検査 4) 免疫細胞関連の検査 5) 腫瘍関連抗原の検査 6) 輸血検査 6. ホルモン検査 7. 微生物検査 8. 生理機能検査 1) 心電図 2) 呼吸機能検査 3) 超音波検査 4) 脳波検査	<関連科目> 微生物学 疾病治療総論 疾病治療論	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	臨床検査:医学書院		

授業科目	薬理学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	院内講師（薬剤科）		
科目目標	1. 薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について理解する 2. 疾病に対する治療薬の種類と作用機序、副作用について医療事故防止と併せて理解し、薬物療法を受ける患者の看護を展開するに必要な知識を身につける		
授業内容			備考
1. 薬理学の基礎的知識 <ul style="list-style-type: none"> 1) 薬物の分類 2) 薬物療法の目的 3) 薬物動態と薬効 4) 薬理作用と副作用（有害事象） 2. 薬物の取扱いと管理 3. チーム医療における薬剤師の役割 4. 主な治療薬等の種類と特徴 <ul style="list-style-type: none"> 1) 抗感染症薬 2) 抗悪性腫瘍薬 3) 免疫治療薬 4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5) 末梢での神経活動に作用する薬物 6) 中枢神経系に作用する薬物 7) 心臓・血管系に作用する薬物 8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9) 物質代謝に作用する薬物 10) 救急の際に使用される薬物 11) 皮膚科用薬・眼科用薬 12) 漢方薬 13) 輸液製剤・輸血剤 			<関連科目> 生化学 疾病治療総論 疾病治療論
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	薬理学:医学書院		

授業科目	疾病治療総論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
講師名	院内担当医師		
科目目標	1. 病因と病変の特徴および疾病の成り立ちと障害について、基礎的な内容を理解する 2. 臨床で行われる疾病の治療として共通する療法について理解する		
	授業内容	備考	
	1. 病理学総論 1) 医学と病理学 2) 細胞・組織の障害 3) 物質代謝障害と疾患 4) 循環障害と疾患 5) 老化と死 6) 炎症 7) 感染症 8) 免疫異常と自己免疫疾患 9) 腫瘍 2. 放射線療法 1) 放射線検査の概要と見方 2) 放射線治療の目的 3) 放射線療法の適応と進め方 4) 放射線障害と防御 3. 内視鏡的治療 1) 内視鏡治療の目的 2) 消化管出血に対する止血術 3) 内視鏡的食道・胃静脈瘤治療 4) 消化管狭窄に対する治療 5) 経皮的内視鏡胃瘻増設術 6) 内視鏡による外科手術 4. 手術療法 1) 手術療法の目的と意義 2) 外科手術手技と処置の基本 3) 麻酔法 4) 手術侵襲・生体反応 5. 疼痛コントロール	<関連科目> 微生物学 薬理学	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	病理学：医学書院 治療法概説：メヂカルフレンド社 臨床外科看護総論：医学書院		

授業科目	疾病治療論 I			
教育方法	講義		単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次	2学期		
講師名	院内外担当医師			
科目目標	循環器系、呼吸器系、感染症、血液・造血器系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について理解する			
	授業内容			備考
	<p>1. 循環器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 先天性心疾患 (2) 虚血性心疾患</p> <p>(3) 心筋症 (4) 心不全</p> <p>(5) 不整脈 (6) 心内膜炎と弁膜疾患</p> <p>(7) 脂質異常症 (8) 高血圧症</p> <p>(9) 動脈硬化症 (10) 閉塞性動脈硬化症</p> <p>(11) 大動脈瘤</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 心臓カテーテル検査 (2) ペースメーカー</p> <p>(3) 降圧・利尿薬、抗不整脈薬、抗狭心症薬、抗凝固薬</p> <p>(4) 経皮的冠動脈形成術 (5) 開心術</p> <p>2. 呼吸器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 気道・肺の炎症 (2) 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患</p> <p>(3) 肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)</p> <p>(4) 肺の腫瘍 (5) 肺結核</p> <p>(6) 気胸</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 血液ガス (2) 気管支鏡・造影検査</p> <p>(3) 胸腔穿刺 (4) 抗アレルギー薬、気管支拡張薬</p> <p>(5) 肺切除術</p> <p>3. 血液・造血系の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 貧血 (2) 白血球減少症</p> <p>(3) 造血器の腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 骨髄穿刺 (2) 骨髄移植、造血幹細胞移植術</p> <p>4. 感染を原因とする疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) MRSA感染症 (2) HIV感染症</p> <p>(3) インフルエンザ (4) 腸管出血性大腸菌感染症(0-157)</p> <p>(5) EBV(伝染性単核症) (6) ウィルス性胃腸炎(ノロウイルス)</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 抗ウイルス治療</p> <p>(2) 免疫機能検査</p> <p>(3) ワクチン接種(任意接種)(小児期定期接種以外)</p>			<p><関連科目></p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>
評価の方法	筆記試験およびレポート等			
テキスト	成人看護学:医学書院 「循環器」「呼吸器」「アレルギー膠原病・感染症」「血液・造血器」			

授業科目	疾病治療論Ⅱ			
教育方法	講義	単位・時間数	1単位	30時間
開講学期	1年次	2学期		
講師名	院内外担当医師			
科目目標	消化器系、女性生殖器系、脳・神経系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について理解する			
	授業内容			備考
	<p>1. 消化器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 消化管の炎症と潰瘍 (2) 消化管の腫瘍</p> <p>(3) イレウス (4) 排便の障害</p> <p>(5) 肝・胆・膵の炎症 (6) 肝硬変、肝不全</p> <p>(7) 肝・胆・膵の腫瘍 (8) 胆汁代謝・排泄障害</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 消化管内視鏡検査 (2) 造影検査</p> <p>(3) 腹水穿刺 (4) 肝生検</p> <p>(5) 胆嚢摘出術、胃切除術、膵臓切除術、腸切除術、肝切除術</p> <p>(6) 食道再建術 (7) 食道静脈硬化療法</p> <p>(8) ストーマ造設 (9) 胆管ドレナージ</p> <p>(10) 肝臓動脈塞栓術 (11) インターフェロン療法</p> <p>2. 女性生殖器系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫）</p> <p>(2) 乳腺の疾患（乳腺炎、乳腺症）</p> <p>(3) 腫瘍（乳がん、子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん）</p> <p>(4) 生殖機能障害（月経異常、更年期障害）</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 内診</p> <p>(2) ホルモン療法</p> <p>(3) 乳房の触診</p> <p>3. 脳・神経系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 脳血管障害（脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病）</p> <p>(2) 頭蓋内圧亢進症</p> <p>(3) 変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症<ALS>）</p> <p>(4) 脱髄疾患（多発性硬化症）</p> <p>(5) 認知症（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症）</p> <p>(6) 感染症（脳炎、髄膜炎）</p> <p>(7) 頭部外傷</p> <p>(8) 機能的疾患（てんかん） (9) 脳腫瘍</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 神経学的診察 (2) 脳血管造影</p> <p>(3) 髄液検査 (4) 誘発電位法</p> <p>(5) 脳の血腫・腫瘍・動脈瘤摘出術</p> <p>(6) 薬物療法 (7) 放射線療法</p>			<p><関連科目></p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>
評価の方法	筆記試験およびレポート等			
テキスト	成人看護学：医学書院 「消化器」 「女性生殖器」 「脳・神経系」			

授業科目	疾病治療論Ⅲ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	1年次 2学期		
講師名	院内外担当医師		
科目目標	内分泌・代謝系、免疫系、生体防御機能、腎・泌尿器系の疾患と症状、障害及び病態・検査・治療について学ぶ		
	授業内容	備考	
	<p>1. 内分泌及び代謝系の疾患</p> <p>1) 主な疾患</p> <p>(1) 下垂体疾患 (クッシング症候群)</p> <p>(2) 甲状腺の疾患 (甲状腺機能亢進症・低下症、甲状腺癌)</p> <p>(3) 副甲状腺 (上皮小体) の疾患</p> <p>(4) 副腎の疾患 (クッシング症候群、褐色細胞腫)</p> <p>(5) 多発性内分泌腫瘍</p> <p>(6) 栄養バランスの不均衡による疾患 (脂質異常症、高尿酸血症)</p> <p>(7) 糖尿病</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 甲状腺機能検査</p> <p>(2) ホルモン補充療法・抗ホルモン療法</p> <p>(3) インシュリン療法</p> <p>2. 自己免疫疾患・膠原病</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 関節リウマチ (2) 全身性エリテマトーデス</p> <p>(3) シェーグレン症候群 (4) ベーチェット病</p> <p>(5) 多発性筋炎</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 骨髄穿刺 (2) ステロイド療法</p> <p>3. 生体防御機能障害</p> <p>1) 皮膚・付属器および粘膜の疾患と病態</p> <p>4. 腎・泌尿器及び男性生殖器の疾患</p> <p>1) 主な疾患と病態</p> <p>(1) 腎・尿路の炎症 (2) 腎・尿路の腫瘍</p> <p>(3) 腎・尿路の通過障害 (4) 腎不全</p> <p>2) 主な検査・治療・処置</p> <p>(1) 腎生検 (2) 尿流動態検査、膀胱鏡検査</p> <p>(3) 内診・性機能検査 (4) 膀胱留置カテーテル</p> <p>(5) 透析療法 (6) 薬物療法、ホルモン療法</p> <p>(7) 腎臓移植術 (8) 尿路変更術</p> <p>(9) 前立腺切除術、前立腺摘出術</p>	<p><関連科目></p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療総論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	成人看護学：医学書院 「内分泌・代謝」「アレルギー・膠原病・感染症」「皮膚」 「腎・泌尿器」		

授業科目	疾病治療論Ⅴ		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	院内外担当医師		
科目目標	小児に生じやすい形態異常と疾患及び検査・治療について理解する		
	授業内容	備考	
	1. 遺伝子・染色体の異常 1) ダウン症候群 2) 血友病 2. 代謝性疾患 1) 先天代謝異常症 2) 1型糖尿病 3. 消化器疾患 1) 肥厚性幽門狭窄症 2) ヒルシュスプルング病 3) 鎖肛 4) 腸重積 5) 胆道閉鎖症 6) 乳児下痢症（ロタウイルス感染症を中心に） 7) 先天性横隔膜ヘルニア 4. 呼吸器疾患 1) 肺炎・気管支炎 2) クループ症候群 3) RSウイルス・マイコプラズマ感染症 5. 循環器疾患 1) 心房・心室中隔欠損症 2) 動脈管開存症 3) ファロー四徴症 4) 乳幼児突然死症候群 6. アレルギー疾患 1) 気管支喘息 2) アトピー性皮膚炎 7. 血液疾患・悪性腫瘍 1) 血管性紫斑病 血小板減少性紫斑病 2) 白血病（主に急性リンパ性白血病） 3) 神経芽細胞腫 4) ウィスムス腫瘍 8. 神経・筋疾患 1) 髄膜炎 脳炎 2) 水頭症 3) 熱性けいれん 4) 水頭症 二分脊椎 5) 脳性麻痺 9. 腎・泌尿器疾患 1) ネフローゼ症候群 10. 骨・関節疾患 1) 先天性股関節脱臼 11. 感染症 1) 麻疹 風疹 2) 水痘 3) 流行性耳下腺炎 4) 伝染性膿痂疹 5) ポリオ 6) ジフテリア 7) 百日咳 8) 突発性発疹 9) 手足口病 12. 免疫疾患 1) 川崎病 2) リウマチ熱	< 関連科目 > 解剖生理学 疾病治療論 薬理学 臨床検査	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	小児臨床看護各論 小児看護学2：医学書院		

授業科目	疾病治療論VI		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	非常勤講師		
科目目標	精神障害の病理と疾患、治療および検査について理解する		
	授業内容	備考	
	<p>1. 主な精神疾患</p> <p>1) 統合失調症</p> <p>2) 気分障害</p> <p>3) 神経症性障害、ストレス関連障害および心身表現性障害 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害 (PTSD)、適応障害)</p> <p>4) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)</p> <p>5) 精神作用物質関連障害 (アルコール依存症、覚醒剤、大麻精神病)</p> <p>6) 器質性精神障害 (症状精神病)</p> <p>7) 精神遅滞</p> <p>8) 発達障害</p> <p>9) 性同一性障害</p> <p>2. 主な検査、治療</p> <p>1) 脳波検査・脳の画像検査</p> <p>2) 心理検査</p> <p>3) 脳脊髄液検査</p> <p>4) 薬物療法</p> <p>(1) 抗精神病薬</p> <p>(2) 抗うつ薬</p> <p>(3) 気分安定薬</p> <p>(4) 抗不安薬</p> <p>(5) 睡眠薬</p> <p>(6) 抗てんかん薬</p> <p>5) 電気けいれん療法</p> <p>6) 精神療法</p> <p>7) リハビリテーション療法</p>	<p><関連科目></p> <p>解剖生理学</p> <p>疾病治療論</p> <p>薬理学</p> <p>臨床検査</p> <p>・認知症に関しては、 疾病治療論IIで学ぶ</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	精神看護の基礎:医学書院		

専門基礎分野（健康支援と社会保障制度）

授業科目	医療概論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 15時間
開講学期	1年次 1学期		
講師名	院内担当医師・非常勤講師		
科目目標	医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割および、保健・医療における看護の役割について理解する		
	授業内容	備考	
	<p>1. 医学・医療の歴史</p> <p>1) 医学・医療の歴史を学ぶ意味</p> <p>2) 医学はどのように発展してきたか</p> <p>3) 医療の黒歴史</p> <p>4) 脳死と臓器移植</p> <p>5) 安楽死と医療</p> <p>6) 日本の医療を支えた医療訴訟</p> <p>7) 医療研究開発への患者・市民参画</p> <p>2. 医療の実践</p> <p>1) 診断・治療のプロセス</p> <p>2) 医療の実践と倫理的課題</p> <p>3. わが国の社会保障制度</p> <p>1) 医療保険制度</p> <p>2) 介護保険制度</p> <p>3) 地域包括ケア</p> <p>4) 地域共生社会</p> <p>4. 医療を担う専門職と連携</p> <p>1) 医療を担う専門職</p> <p>2) 多職種連携</p> <p>3) 医療機関の連携</p> <p>4) プライマリケア</p> <p>5) 在宅医療</p> <p>6) 医療者に求められるプロフェッショナリズム</p>	<p><関連科目></p> <p>看護学概論</p> <p>保健医療論</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	医療学総論 メヂカルフレンド社		

授業科目	保健医療論		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	院内担当医師・教員・院内講師（看護部）・機構講師（看護部）		
科目目標	医療施策の現状と課題を踏まえ、国立病院機構が担う医療における看護師の役割と実際について理解する		
	授業内容	備考	
	<p>1. 我が国の医療提供体制</p> <p>1) 医療法改正</p> <p>2) 国立病院機構の役割（医療・臨床研究・教育研修）</p> <p>3) 地域医療</p> <p>（1）重点施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5疾病・5事業 ・静岡医療センターの特色 救急医療・病院前との連携 災害医療、DMATの活動、がん看護 <p>（2）セーフティネット医療</p> <ol style="list-style-type: none"> ① セーフティネット医療とは ② 結核患者の看護 ③ 重症心身障害者の看護 ④ 神経難病患者の看護、てんかん患者の看護 ⑤ 筋ジストロフィー患者の看護 ⑥ エイズ患者の看護 ⑦ 触法精神障害者の看護（医療観察法） <p>4) 臨床研究</p> <p>5) 教育研修</p> <p>（1）看護学校教育</p> <p>（2）継続教育 看護職員能力開発プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> ①専門分野研修 ②看護管理者ステップアップ研修 ③教員養成研修 <p>2. ハンセン病療養所の現状と課題</p>	<p><関連科目></p> <p>医療概論</p> <p>疾病治療総論</p> <p>公衆衛生学</p> <p>地域・在宅看護論</p> <p>・てんかんは小児期の成長発達を含めて学ぶ</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	<p>医療学総論：メヂカルフレンド社</p> <p>臨床外科総論：医学書院 災害看護：メヂカルフレンド社</p> <p>成人看護学「呼吸器」「血液・造血器」「脳・神経」：医学書院</p> <p>小児の疾患と看護：MCメディカ出版 精神看護の基礎 展開：医学書院</p> <p>国民衛生の動向</p>		

授業科目	公衆衛生学		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	非常勤講師		
科目目標	地域社会で普通に暮らしている人々、あるいは各種機能集団の人々の健康を保持増進するための理論と方法を学ぶ		
	授業内容	備考	
	<p>1. 公衆衛生と公衆衛生学</p> <p>1) 健康の概念</p> <p>2) 公衆衛生の歴史</p> <p>3) 公衆衛生の方法 プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション</p> <p>2. 人間の健康と環境</p> <p>1) 環境の捉え方（自然環境と生活環境）</p> <p>2) 環境問題</p> <p>3) 住居環境の生活衛生</p> <p>4) 食品保健と栄養</p> <p>5) 薬物</p> <p>6) 環境行政</p> <p>3. 人口統計 人口構造</p> <p>4. 保健統計</p> <p>5. 疫学</p> <p>6. 予防と健康保持増進 健康診断と受療状況 ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ</p> <p>7. 保健活動</p> <p>1) 地域保健</p> <p>2) 母子保健</p> <p>3) 成人保健</p> <p>4) 高齢者保健福祉（地域包括ケアシステム）</p> <p>5) 精神保健</p> <p>6) 難病・障害者（児）保健福祉</p> <p>7) 歯科保健</p> <p>8) 学校保健</p> <p>9) 産業保健</p> <p>10) 災害保健・国際保健</p>	<p><関連科目></p> <p>社会福祉</p> <p>成人看護学</p> <p>老年看護学</p> <p>小児看護学</p> <p>母性看護学</p> <p>精神看護学</p> <p>地域・在宅看護論</p>	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	<p>公衆衛生学：メヂカルフレンド社</p> <p>国民衛生の動向</p>		

授業科目	社会福祉		
教育方法	講義	単位・時間数	1単位 30時間
開講学期	2年次 1学期		
講師名	院内講師（地域医療連携）		
科目目標	社会福祉の理論や制度について基礎知識を身につけ、医療と福祉の関連を認識し、対象の福祉に対するニーズに対応し、制度やサービスを活用できる能力を養う		
	授業内容	備考	
	1. 社会福祉の概要 1) 社会福祉の組織 2) 福祉の専門職と職種 2. 社会保障制度 1) 所得保障 2) 医療保障 3. 高齢者福祉 1) 老人福祉 2) ゴールドプラン 3) 老人保健法 4) 介護保険制度 5) 老人福祉計画 6) 高齢者虐待防止法 4. 児童福祉 1) 児童福祉法 2) 児童憲章 3) 子育て支援（新エンゼルプラン） 5. 障害者福祉 1) 障害者の定義 2) ノーマライゼーション 3) 障害者プラン 4) 障害者総合支援法 5) 成年後見人制度等 6) 障害者虐待の防止 6. 公的扶助 1) 生活保護法の基本原理 2) 生活保護の運営実施と体制 3) 生活保護の現状 7. 一人親家庭の福祉 1) 母子福祉対策 2) 父子家庭対策 3) 児童扶養手当制度 8. 労働者災害補償保険制度・雇用保険制度 9. 社会福祉と医療・看護の連携	<関連科目> 疾病治療総論 公衆衛生学 地域・在宅看護論 医療概論	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	社会保障・社会福祉：医学書院		

授業科目	関係法規		
教育方法 開講学期	講義 3年次 2学期	単位・時間数	1単位 30時間
講師名	院内講師（管理課・企画課）・非常勤講師		
科目目標	看護職や看護実践に関連する法令の知識を学び、職業人として法に対する規範的行動を身につける		
授業内容		備考	
1. 法の内容 2. 看護法 1) 保健師助産師看護師法 (1) 保健師助産師看護師法とは (2) 看護師国家試験受験資格 (3) 看護師国家試験手続きの実際 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 3. 医事法 1) 医師法 2) 医療法 3) 医療関係資格法 (1) 診療放射線技師法 (2) 臨床検査技師等に関する法律 (3) 理学療法士及び作業療法士法 4) 医療を支える法 (1) 独立行政法人国立病院機構法 (2) 臓器の移植に関する法律 (3) 死体解剖保存法 (4) 死産の届けに関する規程 (5) 医学及び歯学の教育のための献体に関する法律 4. 薬物に関する法律 1) 薬剤師法 2) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 3) 麻薬及び向精神薬取締法 4) 毒物及び劇物取締法 5) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 6) その他の医薬品に関する法律 5. 社会保険法 1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 高齢者の医療に関する法 4) 介護保険法 5) 国民年金法 6. 労働法と社会基盤整備 1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 4) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 5) 個人情報保護に関する法律 7. 環境法 1) 環境基本法 2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 3) 公害健康被害の保障等に関する法律		< 関連科目 > 倫理学 社会福祉 公衆衛生学 基礎看護学 看護の統合と実践	
評価の方法	筆記試験およびレポート等		
テキスト	看護をめぐる法と制度：MCメディカ出版 国民衛生の動向		